

モニタリング結果報告書

施設名 : おだわら諏訪の原公園

指定管理者 : 緑栄造園・日比谷アメニス共同事業体

施設所管課(事務所名) : 小田原土木事務所

(平成22年度 上半期)

管理運営状況総括

1 月例報告書によるモニタリングの概況

報告月	受理日	確認通知日	備考(確認事項等)
4月	5月10日	5月27日	月例報告書・日報・現場確認
5月	6月7日	6月28日	月例報告書・日報・現場確認
6月	7月6日	7月26日	月例報告書・日報・現場確認
7月	8月9日	8月26日	月例報告書・日報・現場確認
8月	9月8日	9月28日	月例報告書・日報・現場確認
9月	10月7日	10月25日	月例報告書・日報・現場確認

2 指定管理者の選定理由にある取組み等の実施状況

(1) 提案内容の達成度

A : 提案を上回る ☒ B : 提案どおり ☐ C : 提案を下回る

(2) 実施状況等

指定管理者の選定に際して、サービスの向上や利用促進の観点から提案された各取組み等について、提案内容の要旨とそれに対応する形で実績を記載する。

<提案内容の概要>

- 公園の設置目的を踏まえた管理運営について
 - ・伝える・つなげる・育む
- 利用者の平等な利用の確保について
 - ・誰でも楽しめより平等・公平な公園へ
- 利用者や地域住民等に配慮した管理運営について
 - ・安全・快適な公園へ
- 環境に配慮した管理運営について
 - ・環境に配慮した維持管理

<実施状況>

- 小田原ケーブルテレビ・地域情報誌タウンニュースによりイベントの紹介記事を掲載し小田原フラワーガーデンと一緒にイベントを行い公園利用者の増加を見込んだ。
- パークセンター内でのクラフト教室の自由参加で材料も豊富にそろえいつでも参加出来るように努めている。また野外では昆虫教室を実施している。
- ローラー滑り台には安全のため利用指導を行い、敷マットの貸出、大人には軍手を貸出し安全で快適に利用出来るようにした。
- クラフト材料は間伐材の利用により環境に配慮、またイベント用材料も竹林内を管理するとき出る間伐材を利用したもの、春には竹の子堀等職員が色々工夫して行なった。

3 収支状況（単位：千円）注：千円未満を切捨てているため、合計は一致しません。

		収 入 額			支出額	収支差額
		指定管理料	利用料金 (前年同月料金額)	その他収入 (前年同月料金額)		
年間予算額	58,450	58,450	0	0	58,450	0
上半期計 (a)	30,110	30,110	0 (0)	0 (0)	32,900	△ 2,790
下半期計 (b)						
4 月	4,263	4,263			4,623	△ 360
5 月	4,618	4,618			5,230	△ 612
6 月	5,462	5,462			5,862	△ 400
7 月	4,632	4,632			5,371	△ 739
8 月	5,333	5,333			5,891	△ 558
9 月	5,802	5,802			5,923	△ 121
合計 (a+b)	30,110	30,110	0 (0)	0 (0)	32,900	△ 2,790

1 指定管理者の収入を記載する(県の収入である「使用料」は含まない)。

2 「その他収入」は、都市公園の駐車場収入、雑収入、寄付金収入など指定管理料と利用料金以外のすべての収入を記載する。

収支状況に関する意見等

・半期計欄の収支差額が、収入額又は支出額のうち低い方の額の1割以上プラス又はマイナスとなっている場合は、その理由を分析し記載するとともに、必要な場合は、対応策も併せて記載する。

・また、収支差額に1割以上プラスが生じた主な理由が、人件費の削減である場合は、年度協定における人員配置計画と比較し、合理性が認められるか否かを記載する。

・年間予算額の収支が均衡していない場合は、その理由を記載する。

(今期に行った資本的な収入及び支出の状況)

	内容	金額(千円)
収入の状況		
支出の状況		
積立等の状況		(期首)
		(期末)

収入の状況: 定期預金の取り崩し、借入れによる収入があった場合等は、その旨を必ず記載する。

支出の状況: 車両の購入、施設の増改築、また定期預金の積み立てを支出に含めた場合等は、その内容を必ず記載する。

積立等の状況: 積立・借入れ等がある場合は、その内容(施設の増改築のための積立・借入れ、定期預金等)、当該期首及び期末の金額を必ず記載する。

4 利用状況

	利用者数	前年同月利用者数	前年対比増減率
上半期計 (a)	34,950人	30,725人	13.8%
下半期計 (b)			
4月	6,328人	6,038人	4.8%
5月	10,189人	7,338人	38.9%
6月	4,386人	4,188人	4.7%
7月	3,926人	3,228人	21.6%
8月	4,793人	4,096人	17.0%
9月	5,328人	5,837人	△8.7%
合計(a+b)	34,950人	30,725人	13.8%

利用状況に関する意見等

半期計欄の前年対比増減率が、1割以上プラス又はマイナスとなっている場合は、その理由を分析し記載するとともに、必要な場合は、対応策も併せて記載する。

- ・ホームページでの紹介、各種イベントの開催により、公園の認知度が向上し、利用者が増加した。

5 苦情・要望等の状況 (施設受付分)

報告月	口頭		文書			合計
	対面	電話	手紙	メール	アンケート	
4月	18	7	0	0	19	44
5月	39	6	0	0	11	56
6月	18	3	0	0	12	33
7月	24	12	0	0	13	49
8月	28	8	0	0	32	68
9月	23	10	0	0	19	52

(施設所管課受付分)

報告月	口頭	文書	合計
4月			
5月			
6月			
7月			
8月			
9月			

6 特筆すべき苦情・要望等及び対応状況

類似の苦情や要望が多く寄せられたもの、苦情や要望をもとに対応した取組みが利用者に評価されたもの、苦情や要望のうち対応したいと考えるが、諸般の事情により対応できないものなどを記載する。

分野	概要	対応状況
施設・設備	・特になし	
	・	
職員対応	・	
	・	
事業内容	・	
	・	
その他	・	
	・	

7 事故や不祥事等の発生状況

利用者や職員が死傷した場合、業務の実施において法令違反等による指導や処分を受けた場合及び個人情報や公金の管理等において不適切な取扱い等があった場合は、その概要と対応状況を記載する。なお、利用者の死亡事故や個人情報の流出等、重大な事故や不祥事が発生した場合は、県庁改革課に任意の様式により速やかに報告書を提出する。

発生日	概要・対応状況等
月 日	特になし
月 日	
月 日	

8 随時モニタリングの実施状況

事故や不祥事の発生等に伴い、施設所管課が随時モニタリングを実施した場合は、調査内容や結果を記載する。

実施日	対応者等	経緯・調査内容	調査結果
月 日		実施せず	
月 日			

9 上半期の所見等

1～8の各項目の状況等を踏まえ、指定管理業務をより効果的・効率的に推進する観点から、反省点や改善策等を記載する。

指定管理者	・公園内の芝生広場の手入れに力を入れ公園利用者が楽しくまた公園に来園してくれる用により一層努力をした。その結果利用者の増加が見られた。ローラー滑り台がこの夏休みより利用が出来るようになり、事故防止に努めた。ローラー滑り台は人気があり一人の子供が何回も利用しているのが見受けられた。 ・公園祭り等では隣接するフラワーパークと調整し一緒にアマチュア演奏家等を招き、軽音楽演奏会を開催し祭りを盛り上げ、利用者に好評であった。
施設所管課	・ホームページにより公園の紹介（ローラー滑り台）を行い、又いろいろなイベントを提案し公園に人を集める努力を行っているのがよくわかります。今後もいろいろ工夫して、公園利用者の増加に努力してもらいたい。